

令和7年度 愛南町防災・事前復興フォーラム

大規模災害に備えて地域で今できること、 そして、次世代へ繋ぐまちづくり

1月17日(土)、御荘文化センターで令和7年度愛南町防災・事前復興フォーラムが行われました。令和7年度の新たな取り組みとして、南宇和高校、東京大学大学院、愛南町が実施している事前復興の取り組みについて、模型やパネル等を用いて防災ブース展示を実施しました。

御荘文化センターホールでは、町防災対策課、東京大学大学院生、南宇和高校防災地理部の生徒より、事前復興等に関する取り組みについて報告を行いました。その後、福浦地区自主防災組織に在籍する松田恵子さん、菅原リエさん、大西慶さんより、日々取り組まれている防災活動等について講演があり、講演の最後には、「住民一人一人が防災を自分のこととして考えられるように、福浦だからこそできる活動をこれからも続けていきたい」と地元を思う気持ちを述べました。

また、「今できる備え、次世代へ繋ぐこと」をテーマに、町防災アドバイザー井村浩之^{ひろゆき}氏の進行によるパネルディスカッションを行い、登壇者に加えて、中村維伯^{まさのり}町長も討論に参加しました。未来の愛南町に必要なものという討論では、「多世代で交流できる場が必要」、「何より人が大切」など、さまざまな立場の方が愛南町の将来のまちづくりを考える機会となりました。



▲防災ブース展示の様子



▲福浦地区自主防災組織の皆さん
左から松田さん、菅原さん、大西さん



▲パネルディスカッションの様子

フォーラム当日に実施した参加者アンケートの意見を紹介します。
今後も、いただいた意見をもとに、防災・事前復興フォーラムの内容の充実に努めていきます。

- 初めて参加しましたが、すごくいい会だと思います。この取り組みを町内の人々にどんどん発信して防災についての町民の意識を高めていくことが大切だと思います。
- 防災について、学ぶことの大切さを知ることのできたフォーラムでした。これからも、町を守るため、人口減少を和らげるためのプログラムは難しいかもしれませんが、何か自分でもできることを見つけ、少しでも、貢献できればと感じました。
- 今日学んださまざまな取り組みを、少しでも自分の地区に取り入れていきたいです。